

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	下上山線道路舗装工事	府中市	4,644,000	4,400,000	

(備考)事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下上山線道路舗装工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		府中市		
交付金事業実施場所		府中市上山町字七森		
交付金事業の概要		減水区間である上山地区と市内を結ぶ主要な幹線道路である下上山線は、地域住民の生活に欠かすことのできない道路です。しかし、アスファルト舗装版が劣化し、自動車で行くとハンドル操作に支障をきたすことがあるなど、安全に通行できない状態となっています。そこで、アスファルト舗装版の打ち換え工事を実施し、交通の安全性を確保します。(L=146.5m、A=529㎡)		
総事業費		4,644,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000 0 4,400,000
交付金事業の成果目標		<p>交通利便性が低い過疎地域である上山地区において、主要な交通手段は自動車です。その中で下上山線は、住民や事業者等が上山地区と市内を行き来する際に利用する幹線道路となっていますが、老朽化が激しく、アスファルト舗装版の補修が必要な状態です。上山地区の町内会長と現地調査した際も、下上山線の舗装工事が必要だと判断されたため、工事を行うことが決定しました。</p> <p>事業該当箇所は、わだちや沈下、ひびわれが多く見られ、車両事故等も懸念されるため、交通の安全性を確保する必要があります。舗装工事を行うことにより、通行への支障を解消し、安全に通行できる状態にします。また、安全に通行できることにより住民生活の利便性を向上させ、発電所事業への住民理解の促進へとつなげていきます。</p>		
交付金事業の成果指標		上記、成果目標を達成するため、老朽化した道路のアスファルト舗装版の打ち換え工事を実施し、交通の安全性を確保します。そして、住民生活の利便性の向上につながったことを確認するため、工事完了後の検査時に地域住民の代表者に立会してもらい、工事箇所について意見を聞いて満足度100%とすることを目指します。		
交付金事業の成果及び評価		<p>工事は平成29年12月26日に完了しました。アスファルト舗装版の打ち換え工事を実施したことで、舗装の劣化が改善され、ひびわれ等、舗装版の状態の悪い箇所が改善されました。通行への支障がなくなり、下上山線道路を安全に通行できる状態にすることができました。</p> <p>また、検査時に地域住民の代表者2人に立会してもらい、2人から工事箇所について満足との回答をもらいました。目指していた満足度100%という回答となったため、目標は達成されたものと評価しています。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
下上山線道路舗装工事		一般競争入札	千田建設株式会社	4,644,000
		計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成34年度

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載